

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
1	<p>自民・笑顔の会 代表質問 18番 西川 宏</p> <p>（質問方式） 一問一答</p>	<p>1. 本市の誇る文化財の適切な保存と将来に向けた発展的な取り組みを</p>	<p>（1）本市文化財の保存・活用の現状と課題について</p> <p>①本市における国の重要文化財（じないまちや重要文化財の建造物・工芸品など）の状況について聞く</p> <p>②老朽化対策や修繕・維持管理の状況と予算配分について伺う</p> <p>③文化財を活かした地域活性化や観光振興の取組み（例：ガイドの育成、VR/AR技術の活用、イベントの開催など）の現状と、今後の具体的な計画について、また、市民への啓発活動や文化財学習の機会提供についても併せて伺う</p> <p>（2）文化財の防災・災害対策の強化について</p> <p>①文化財、特に建造物や史料などの防災・防火対策（例：消火設備の充実、耐震補強、避難・救出計画の策定など）及び関係機関（消防、警察、ボランティア団体等）との連携訓練の実施状況・今後強化していくべき点について聞く</p> <p>②災害発生時における文化財レスキュー（救出・保全）体制の構築状況について聞く</p> <p>（3）教育分野との連携強化について</p> <p>①市内の小中学校における文化財学習の現状と、今後の強化策について伺う（富田林じないまちや重要文化財などを活用した体験型学習や、授業への専門家の派遣、教材開発などの具体的な計画はあるのか）</p> <p>②文化財の維持管理の課題について、市民や子どもたちが理解を深めるための啓発活動や学習プログラム（例：文化財サポーターの育成、修繕現場の見学機会提供など）をどのように展開しているのか伺う</p> <p>（4）観光分野との連携による地域振興について</p> <p>①文化財を核とした観光ルート開発や地域ブランディングの取組みについて伺う（特に、富田林じないまちを訪れる観光客を市内の他の歴史文化スポット（例：古墳、他の寺社など）へ誘導する周遊促進策はあるのか）</p> <p>②本市文化財の情報を国内外へのプロモーションにどのように活用し、観光客誘致に繋げているのか。また、観光施設や宿泊・飲食業者との連携によるインバウンド対策の具体的な取組みについて聞く</p> <p>③歴史的景観の保全（例：じないまちの電線地中化、景観条例の適用など）と、観光客の受け入れ体制（例：トイレ、駐車場、多言語対応など）の整備について、現状の課題と今後の整備計画について伺う</p> <p>（5）国宝指定を目指す取組みの推進について</p> <p>①市として現在、国宝指定の可能性を検討している文化財はあるのか。また、その選定方法や条件などについて伺う</p> <p>②周辺自治体で国宝を所有している自治体の有無とその詳細について聞く</p> <p>③本市も文化財の国宝指定を目指して行くべきと考えるが市の見解を聞く</p>
		<p>2. 本市における将来的な公園のあり方について考える</p>	<p>（1）公園全体に対する市の見解について（現状認識と課題、利用者ニーズへの対応について）</p> <p>①市民が安全かつ快適に公園を利用できるよう、遊具の安全点検や老朽化した施設の計画的な更新に向けてのロードマップおよび財源の確保について聞く</p> <p>②人口減少・少子高齢化が進む中で、公園の利用状況や利用者ニーズの変化をどのように把握しているのか</p> <p>③子育て世代が安心して利用できる乳幼児向けの設備の充実や、高齢者の健康増進に繋がる器具の設置について伺う（現在の状況と今後の導入も含めて問う）</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
			<p>④ペットを飼う市民の増加に対応するため、ドッグランなど特定のニーズを持つ利用者のための空間整備を提案するが市の見解を伺う（他市の事例なども踏まえ問う）</p> <p>（2）持続可能な管理運営と地域連携について</p> <p>①公園の維持管理コストが増加する中で、地域住民や民間などとの協働による公園管理の推進について問う（具体的な事例や今後の計画も含め問う）</p> <p>②ネーミングライツや自動販売機設置による収益を公園管理に充てるなど提案するが、財源確保策の検討についての市の見解を伺う</p> <p>（3）無償借用地の公園について</p> <p>①契約と永続性について聞く</p> <p>i 無償借用地の公園数と割合および貸借契約内容と契約更新について</p> <p>ii 土地の取得および代替地の確保について</p> <p>②維持管理費および遊具の更新について問う</p> <p>③今後の方向性と将来計画について伺う</p> <p>i 借用地であることの市民・利用者への情報提供および土地を返却する際の手順について</p> <p>ii 貸借契約をする際の判断基準や方針について</p> <p>（4）富田林市立中野テニスコートの敷地について</p> <p>①中野テニスコートの利用料（本市が利用者から徴収している料金）について聞く</p> <p>②中野テニスコートの直近5年間の利用人数について聞く</p> <p>③敷地の使用料について詳細を聞く（支払い先、いつから、どのような経緯でなど）</p>
		3. ICT教育およびプログラミング教育の推進を求めて	<p>（1）ICT教育の現状と課題認識について</p> <p>①端末の活用状況について</p> <p>i 児童生徒1人1台端末の活用率について、どのように把握しているか</p> <p>ii 授業の中でのICT活用の実態（平均利用時間、教科別の活用状況など）はどのような状況か</p> <p>②教職員のICT活用能力向上について</p> <p>i 教職員のICT研修は年間どの程度実施されているか</p> <p>ii 校務支援システムの活用状況はどの程度進んでおり、教員の業務削減につながっているのか</p> <p>（2）ICT環境整備の進捗と課題について</p> <p>①通信環境と機器の更新計画について</p> <p>i 各学校におけるWi-Fi環境の速度や安定性について、問題点の把握と改善計画はどうなっているか</p> <p>ii 端末の老朽化に対して更新サイクルや更新予算の見通しをどのように立てているのか</p> <p>②ICT支援員の配置状況について</p> <p>i ICT支援員の配置数と活動内容について</p> <p>ii 増員や配置時間の拡充を検討しているのか</p> <p>（3）学力向上・個別最適化学習への活用について</p> <p>①学力向上への効果検証について</p> <p>i ICT活用が学力テストの結果や学習理解度にどのような影響を与えているのか、分析は行っているのか</p> <p>ii 特に遅れがちな児童生徒へのフォローにICTをどのように活用しているのか</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
			<p>②個別最適化学習の推進について</p> <p>i AIドリル・学習ログ分析ツールの導入状況はどうなっているか</p> <p>ii 教員が児童生徒の学習状況をデータで把握し、指導に生かせる体制は整っているか</p> <p>(4) 情報モラル教育と生成AI活用について</p> <p>①情報モラル教育の体系化について</p> <p>i 小中学校での情報モラル教育の年間指導計画はどのように構築されているか</p> <p>ii SNSやネットトラブルに関する最新の指導内容は取り入れているか</p> <p>②生成AIの活用に関する市の方針について</p> <p>i 授業での生成AI活用について、市としてガイドライン策定状況はどうなっているか</p> <p>ii 教員の生成AIリテラシー向上や児童生徒への指導はどのように進めているか、進める予定か</p> <p>(5) 今後のICT教育の方向性について本市としてICT教育の中期的なビジョン（3～5年計画）はどのように描いているか</p> <p>(6) プログラミング教育について</p> <p>①小中学校におけるプログラミング教育の具体的な指導内容、学年ごとの到達目標、教員の指導体制はどのようになっているのか</p> <p>②より発展的で質の高い授業を行うために、民間企業や大学などの外部人材を活用した出前授業や、教員向けの専門研修をどのように進めているのか</p> <p>③将来的に小中学校でのプログラミング教育が高等学校における「情報」の科目につながることをふまえ、小学校で育んだ興味・関心を、中学校の技術・家庭科等の学習へスムーズに接続させるための「小中連携」の取り組みについて</p>
		4. 感染症等における学校運営について伺う	<p>(1) 学級（学校）閉鎖の判断基準について</p> <p>①本市教育委員会として、学級（学校）閉鎖を判断する際の基準（欠席率、感染者数、症状の傾向、学校医の意見など）は、どのように体系化されているのか。またそれらは保護者や市民に分かりやすく公開されているのか</p> <p>②判断から保護者への周知までのプロセスにおいて、迅速性と正確性を確保するために、どのような体制で運用されているのか</p> <p>③学級閉鎖等による学校行事（例：運動会、修学旅行、定期テストなど）の延期または中止が発生した場合、その代替措置や判断基準について、事前にどのように検討されているのか</p> <p>(2) 出席停止基準との整合性について</p> <p>①公式サイトで公表されている感染症ごとの出席停止期間の基準と、学級閉鎖の判断はどのように連動しているのか</p> <p>②出席停止期間を経た児童が教室へ戻るタイミングと閉鎖解除のタイミングの整合性はどのように確保しているのか</p> <p>(3) 情報提供・連絡体制について学級閉鎖の決定時、保護者に向けた連絡手段（メール・電話・Web等）は統一されているか、その際、プライバシーに配慮はなされているのか</p> <p>(4) 閉鎖期間および解除基準について</p> <p>①学級閉鎖の実施期間は原則何日なのか</p> <p>②閉鎖解除の明確な基準（欠席状況の改善、医療的判断、一定日数経過など）は整備されているか</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
			<p>(5) 学習保障について</p> <p>①学級閉鎖中の児童・生徒に対して、学習機会確保の観点から、具体的にどのような学習支援（例：オンライン授業、動画配信、プリント配布、課題提供、デジタル教材の活用など）を実施しているのか</p> <p>②特にオンライン学習を実施する場合、ICT機器の整備状況（例：一人一台端末の活用状況、家庭での通信環境の確認）や教師側の指導体制は十分に確保されているのか。また、ICT活用が困難な家庭への代替策はあるのか</p> <p>③閉鎖が長期化した場合の補習・フォローアップを体系化しているか</p> <p>④閉鎖解除後、休業期間中の学習内容の遅れを取り戻すためのフォローアップは、どのように計画・実行されているのか</p> <p>(6) 感染予防・再発防止策について</p> <p>①閉鎖後の教室消毒、換気対策などの実施状況、及び感染症流行期における予防教育（手洗い、咳エチケット等）は体系的に行われているか</p> <p>②同じ学校での学級閉鎖が繰り返される場合等、教育委員会として特別な支援・指導を行う仕組み等はあるか</p> <p>(7) 教職員の負担軽減と体制強化について</p> <p>①学級閉鎖等の対応において、教職員の業務（例：保護者連絡、オンライン準備、感染症対応）が増大し、過重な負担となっていないか。なっているのなら具体的な負担軽減策を講じているのか</p> <p>②学級閉鎖等の緊急時における教職員の代替要員やサポート体制について、現在の確保状況と今後の強化策について聞く</p> <p>(8) データ評価と制度改善について</p> <p>①本市における過去数年間の学級閉鎖件数、学年閉鎖・学校閉鎖の実績はどのように分析しているか</p> <p>②その分析結果をもとに、基準や運用の改善を定期的に行う仕組みはあるか</p> <p>③近隣自治体の運用状況や優良事例を参考にする取り組みを行っているか</p> <p>(9) 保護者・家庭への支援について</p> <p>①保護者が仕事を休まざるを得ないケースに対し、市としてどのような支援情報や相談体制を提供しているか</p> <p>②学童クラブの対応は学級閉鎖とどのように連動しているのか。閉鎖中の受け入れ判断基準は明確か</p> <p>③学級閉鎖中も仕事を休めないご家庭のために学童クラブでの受け入れも検討してもらいたいのが市の見解を聞く</p>
		5. 医療機関併設型の病児保育施設を求めて	<p>(1) 本市の病児保育の現状（実施施設、対象児童、利用日時、利用料、給食費、定員、利用方法等）について</p> <p>(2) 本市の病児保育の利用状況について</p> <p>①利用人数と実績を聞く</p> <p>②利用できないケースについて聞く</p> <p>(3) 病児対応型、病後児対応型の病児保育について大阪府内の状況を聞く</p> <p>(4) 病児対応型における医療機関併設型の病児保育について大阪府内の状況を聞く</p> <p>(5) 医療機関併設型と保育所併設型の病児保育について、それぞれのメリットとデメリットについて伺う</p> <p>(6) 今後病児保育施設が複数運営された場合、予約システム等の新たなICTの導入を考えているのか本市の見解を聞く</p> <p>(7) 新規の病児保育の設置に向けての流れについて伺う</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
2	大阪維新の会 代表質問 2番 酒本 千紘 (質問方式) 一問一答	1. 富田林市農業公園(サバーファーム)の運営について。	<p>(1) 8月の再開園以降から現在に至るまでの月ごとの入園者数の推移と本市の見解を聞く。</p> <p>(2) 入園者アンケートの結果の詳細について聞く。</p> <p>(3) 子どもの集客強化について。</p> <p>①遊具や水遊び場など、子どもの滞在時間が長くなる施設整備に取り組んでいただきたいと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>②平日の集客対策として、市内外からの遠足や校外学習の需要を取り込むための取り組みを強化していただきたいと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>③子どもたちが農業を学び、楽しむことができるための施設整備を推進するにあたり、子どもたちへ「本よ届け！」～図書館児童書充実プロジェクト～の事例を参考にふるさと寄附金(個人版・企業版)やクラウドファンディング等に取り組んでどうかと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>(4) 富田林市農業公園(サバーファーム)の運営を強化するための人員体制について。</p> <p>①整園・農業体験に強い農事組合法人富田林市南地区協同組合と飲食物販に強い一富士ケータリング株式会社によるそれぞれの強みを活かした経営に加え、集客施設運営に知見のある民間の外部アドバイザー等からも運営のアドバイスをいただけるような体制を整えてはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>②サバーファームの運営に重点的かつ専門的に対応ができる職員を確保できるように人員体制を強化してはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。</p>
		2. 老人いこいの家と市立集会所の今後のあり方について。	<p>(1) 老人いこいの家について。</p> <p>①市ウェブサイトでは「市内11施設」と案内されている一方、条例には9施設のための記載となっている。特に「高辺プラザ(高辺台小学校内)」「青葉地区老人いこいの家(青葉丘幼稚園内)」の位置づけが条例に存在しない理由と、どの法的根拠に基づき運営されているのか等について、市の見解を聞く。</p> <p>※条例に全11施設を記載するべきだと考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>②現行条例では、「使用できる者は60歳以上」「週6日開館」「開館時間は午前9時から午後4時30分まで」と定められており、実質的に常駐体制を前提とした運営となっている。しかし、担い手不足や多世代交流の広がりを踏まえると、このままの仕組みでは、地域運営が続けられない地区が出てきていると聞き及んでいる。今後、年齢要件や開館要件等について、地域の実態に応じて柔軟に運用できる制度への見直しを検討すべきと考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>※明治池老人いこいの家(明寿荘)で実際に発生した運営困難の事例等についても言及する。</p> <p>※条例には「市長が必要と認めるときはこの限りではない」等の規定があるが、この規定が過去にどのような事例で適用されたのか、判断基準や手続き、書類の取り扱いなど、その運用実態等についても聞く。</p> <p>(2) 市立集会所について。</p> <p>※施設の鍵およびセキュリティカードの管理状況等について、市は全体を把握しているのか。鍵の管理体制を改めて点検し、利用者が抱える不安や困りごとを把握したうえで、改善に取り組んでどうか。</p> <p>※市立明治池集会所の事例等についても言及する。</p> <p>(3) 老人いこいの家と市立集会所が併設されている施設について。</p> <p>※市民からは「用途に応じた柔軟な運用を可能にしてほしい」との意見がある。集会所は飲食禁止、老人いこいの家は60歳以上限定等の制度が、時代の変化や地域ニーズと乖離している現状について、市はどのように認識しているのか聞く。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
			<p>※多世代交流や地域活動を進める観点から、両施設の運用を地域ニーズに沿って柔軟に検討するべきだと考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>(4) 地域主導の運営を支える市の役割について。</p> <p>※「明治池老人いこいの家・市立明治池集会所の今後の管理運営に関する意見交換会」では「市に頼り切るのではなく、市民自身が主体となり、受益者負担の原則を踏まえて運営したい」という声も聞き及んでいる。こうした地域主導の動きを、市はどのように支え、どのような後押しを行うのか、市の見解を聞く。</p>
		3. 小学校学童クラブについて。	<p>(1) 学童クラブの利用要件について。</p> <p>①学童クラブの利用対象は、市内在住の小学生で、保護者が就労等により昼間家庭にいない状態、又はこれと同等の状態が「月15日以上」とされているが、この「月15日以上」という基準の根拠について市の見解を聞く。</p> <p>※基準日数をもう少し減らしてはどうか。</p> <p>②求職活動による利用期間は最大2か月とされているが、保育園等は最大3か月である。両者が異なる理由について聞く。</p> <p>※求職活動による利用期間において、保育園等が最大3か月であるならば、小学校学童クラブも保育園等と同様に求職活動による利用期間を最大3か月へ延長してはどうかと考えるが、市の見解を聞く。</p> <p>※保育園等の求職期間が過去に2か月から3か月に変更された経緯等についても聞く。</p> <p>(2) 学童クラブの所管について。</p> <p>※学童クラブの所管が現在のこども育成課となった経緯及び、学校現場との連携強化の観点から、教育委員会が所管する可能性について、市の見解を聞く。</p> <p>(3) 学童クラブの業務委託・指定管理等の可能性について。</p> <p>※大阪府内における学童クラブの運営形態（直営・業務委託・指定管理）の状況を踏まえ、本市における業務委託または指定管理方式等の導入可能性について、市の見解を聞く。</p> <p>※指定管理方式等への移行により、仕様書に「夏休みのみの受け入れ」や「空き教室の活用」を明記することで、柔軟な運営を可能とすることができないかについても言及する。</p>
		4. 教育職員等による児童生徒性暴力等の防止について。	<p>(1) 児童生徒性暴力等が疑われる事案が発生した際の対応方針等の策定や、他の機関との連携体制の構築について。</p> <p>①対応方針等の内容は、教職員等に周知徹底できているのか。</p> <p>②本市に合わせた対応方針等の策定や、他の機関との連携体制の構築が必要だと考えるが、見解を求める。</p> <p>(2) 児童生徒等及び教育職員等に対する定期的なアンケート調査等について。</p> <p>①これまでの実施状況について。</p> <p>②本市教育委員会として、各学校で実施されているアンケート調査等の内容や方法を把握するとともに、一定の関与をすることを検討してはどうか。</p> <p>(3) 教職員への啓発について。</p> <p>(4) 児童生徒等への啓発について。</p> <p>※アンケートの実施に合わせて啓発を行うなど、年に1回は啓発の時間を設けることを検討してはどうか。</p> <p>(5) 本市独自のLINE相談窓口等の設置を検討してはどうか。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
3	公明党 代表質問 7番 堀辺まゆみ (質問方式) 一問一答	1. 地域防災訓練の充実と実施団体拡大に向けて	(1) 地域防災訓練の実施状況や、市による支援の現状について (2) 地域防災訓練のメニューとして、防災運動会の導入を求めています
		2. 命を守る取組について	(1) 本市におけるAEDの設置状況について（公共施設への設置の他、民間施設における設置状況も聞く） (2) 24時間いつでもAEDを使える環境を広げるため、市内コンビニエンスストアや市内交番へのAED設置を求めています（まちかど救急ステーション事業と連携した取組の推進についても言及する）
		3. 「誰一人取り残されない学びの保障」を目指して	(1) 本市小中学校の学校や教室に通いづらい児童生徒の実態とその対応について (2) 「誰一人取り残されない学びの場」としての小規模特認校の設置を目指して
		4. 東西の（仮称）こども・子育てプラザができるまでの期限措置として、すばるホールの「ふれあいひろば」に、天候に係らず子連れが自由に遊びに行ける「こどもの遊び場」の設置を求めています	(1) これまでのこどもの遊び場を求める市民の声には、どのようなものがあつたのか (2) すばるホールの「ふれあいひろば」の設置の経過と、これまでの活用経過について (3) 金剛中央公園に建設予定の（仮称）こども・子育てプラザの建設予定が、公募中止を受けて実質的に延期される可能性を受け、ますます屋内の「こどもの遊び場」が必要と考えるが、市の見解は？
		5. 利用しやすいスポーツ施設の整備について	(1) 金剛中央グラウンド廃止にともなう、代替グラウンドについて (2) 金剛東グラウンドへの照明設備の設置について
		6. 物価高騰に苦しむ市民の生活を応援するための施策を求めています	(1) 重点支援地方交付金を使い、デジタル版プレミアム商品券の発行や、おこめ券の配布をして、早急に全市民の生活を応援することを求めています (2) 富田林市オリジナルの地域通貨の導入について ①単発ではなく、随時市民の生活を応援する方法について、市はどう考えているか？ ②コロナ禍を経て、多くの市民がスマホを持ち、デジタル化の恩恵を受ける環境が進む中、地域通貨を導入し、継続的に市民を支援できる体制を構築すべきと考えるが、市の見解は？
		7. RSウイルスによる感染症について	(1) 妊婦のRSウイルスワクチン定期接種について (2) 高齢者のRSウイルスによる感染症対策が重要であるがどのような情報発信をしているか？ (3) 高齢者のRSウイルスワクチン接種への助成について

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
		8. 周産期メンタルヘルス支援とオンラインカウンセリングの導入について	<p>(1) 本市の周産期支援について</p> <p>①妊娠届時の助産師面談、産後ケア事業での訪問支援、伴走型支援などの現状と成果について</p> <p>②妊産婦のメンタル不調への早期発見・支援について</p> <p>③妊産婦や家族の相談窓口の体制と時間帯および周知方法について</p> <p>(2) 埼玉県上尾市の事例（マイシェルパ）を踏まえたオンラインカウンセリング導入の可能性について</p> <p>①本市として、周産期の心理支援にオンラインカウンセリングを導入・試行する考えはあるか</p> <p>②保健師との連携による切れ目のない支援体制について</p>
		9. 軽度・中等度難聴者への補聴器購入費助成および聞こえに困難のある市民への通話支援・情報保障の強化について	<p>(1) 本市の補装具費助成制度における補聴器助成の内容と対象基準、および障害者手帳を持たない軽度・中等度難聴児の基準について</p> <p>(2) 成人期以降の軽度・中等度難聴者への補聴器助成の対象拡大について</p> <p>(3) 音声認識アプリ「ヨメテル」等の通話支援の必要性を踏まえた利用料助成の検討について</p> <p>(4) 電話リレーサービスの周知状況および周知強化について</p> <p>(5) 手話言語条例の理念を広く届けるための情報保障の強化について</p>
		10. 介護分野における有償ボランティアの活用について	<p>(1) 本市の介護施設における人材不足や、介護周辺業務の負担増の状況について</p> <p>(2) 有償ボランティアを活用した介護周辺業務のマッチングサービスの導入について</p> <p>(埼玉県川口市のスケッター事業を参考に、国の補助金の活用も併せて聞く)</p>
		11. 市民後見人制度の利用促進と成年後見人等送付先住所変更の一括手続きについて	<p>(1) 本市における成年後見制度及び市民後見人制度の直近数年間の利用者数と、その今後の見通しについて</p> <p>(2) 成年後見人等が各種通知等の送付先変更を一括して登録・変更できる仕組みの導入について、本市はどのように課題を認識し、検討しているのか</p> <p>(3) 導入に向けた具体的な検討状況及び実施時期の見通しについて</p> <p>(4) 市民後見人制度の活用促進に向けた市の取組状況と、今後の方針について</p>
4	とんだばやし未来代表質問 11番 南齋 哲平	1. 藤沢台小学校グラウンドにおける危険物埋没の問題について	<p>(1) 本件に関する市の実情把握について</p> <p>(2) 児童の安全確保に向けた今後の対応策について</p> <p>(3) 他校グラウンドでの同様事態の有無と、全体的な安全点検の必要性について</p> <p>(4) 金剛中央グラウンドを含む再整備計画に向けて本質的な原因究明とその結果を今後どのように反映させていくのかについて</p>
	(質問方式) 一問一答	2. インターネット上の人権侵害に対応するために	<p>(1) 情報流通プラットフォーム対処法とその本格的な施行について</p> <p>(2) 市インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例の実効性を高めるために</p> <p>①被害者の救済・支援等、相談体制の拡充について</p> <p>②インターネット上のモニタリング実施、その重要性について</p>
		3. 老人クラブについて	<p>(1) 老人クラブの現状と課題認識、および今後の方向性について</p> <p>(2) 老人クラブに対する支援および、課題解決に向けた本市の取組状況と世代を超えた参加を促す工夫や、新たな活動メニューの開発など、柔軟な支援策の検討について</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
			<p>(3) 老人クラブを地域全体の社会資源として捉えた先進自治体の取り組みを踏まえ、本市が導入可能な施策について（「地域活動ポイント制度」や「市全体の交流・協働プラットフォーム」の創設に言及する）</p> <p>(4) 老人クラブと公共施設・地域拠点の連携強化をするために、公共施設の優先利用枠の設定、利用料減免制度の拡充、フレイル予防教室や、地域包括支援センターとの拠点を活かした連携などが考えられるが、市の考えを聞く</p>
		4. 部活動の地域展開について	<p>(1) 地域展開に向けた本市独自のプランニングおよび教師の兼職兼業に関する取り組み状況について</p> <p>(2) 地域展開における本市独自策としての「拠点校方式」の導入について</p> <p>(3) 指導者確保および関係団体との調整に向けた「プロジェクトチーム」設置について</p>
		5. 分割校問題について	<p>(1) 分割校の現状に対する認識と児童に与える影響について</p> <p>(2) 本市の教育方針との整合性について</p> <p>①分割校の仕組みが中1ギャップ解消に与える影響</p> <p>②小中一貫教育推進に対する阻害要因としての認識</p> <p>(3) 分割校設置の経過と住民・保護者・子どもたちの意思の扱いについて</p> <p>①分割校設定に至った当時の具体的な経緯</p> <p>②その後の見直し検討の有無</p> <p>(4) 分割校の児童・保護者への選択肢確保について</p> <p>①制度的に選択制を導入する余地があるのか</p> <p>②今後の検討予定はあるのか</p> <p>(5) 今後の対応・改善について</p>
5	14番 坂口 真紀 (質問方式) 一問一答	1. こどもの権利条例素案について	<p>(1) こどもの定義と18歳以上への運用について</p> <p>(2) 声を上げにくいこどもの意見聴取について</p> <p>(3) 周知・理解促進、市民との合意形成について</p> <p>(4) 意見表明権と支援体制の制度化について</p> <p>(5) 相談・救済制度、権利擁護委員会の実効性について</p> <p>①こどもの権利擁護委員会の方針について</p> <p>②相談・調査専門員の役割と人材について</p>
		2. LGBT理解増進法における本市での取り組みと今後の方針について ※本市で性的マイノリティに関する誤解や偏見に基づく教育が行われていないことも確認する	<p>(1) 本市の教育における人権教育の取り組みとその根拠について</p> <p>(2) 幼稚園における人権教育の位置づけと法の解釈について</p> <p>(3) LGBT教育への不安解消と当事者理解の促進について</p> <p>①教育現場における不安解消と相互理解の取り組みについて</p> <p>②性的マイノリティと犯罪行為等を混同することについての市の認識について</p> <p>(4) こどもの権利アンケート調査結果に基づく市の方針について</p> <p>(5) インターネット上の誹謗中傷や差別等の人権侵害のない社会づくり条例に照らした議員のSNS発信と人権侵害の認識について</p> <p>(6) 多様な市民の人権を尊重するまちづくりの今後の方針について</p>

令和7年第4回（12月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発言の要旨
6	15番 京谷 精久 (質問方式) 一問一答	1. 産業振興施策について	(1) 今年度を実施した企業実態調査についての概要と現状どのような課題が浮き彫りとなっているのか (2) 市として、その結果を踏まえ今後どのような施策を進めていくのか ①企業立地促進条例による立地奨励金の実績と課題 ②大阪府産業集積促進税制の実績と課題について (3) 特に雇用促進施策が必要と考えるが、現時点の調査結果も踏まえて市としての雇用促進の考え方について聞く ①雇用促進奨励金の実績と課題について ②実効性に繋がる適用基準の見直しを求める
		2. 富田林市都市計画道路の早期見直しを求める	(1) 現在の見直しに向けての取り組み状況と今後の見通しについて聞く ①現在未着手3路線の平成25年度見直し時に、どのように検討され継続に至ったのか、またなぜ今まで未着手のままで現在も着手見通しが立たなかったのか ②都市計画道路は、町づくり全体にかかわることなら本来は、都市計画課が主導すべきと考えるが
		3. 高齢者の孤独、孤立対策について	(1) 対象高齢者の現状と取り組み状況、課題認識について聞く (2) 富田林市増進型地域福祉プラットフォームの現状と取り組み状況について ①緊急事案等への対応リスト作成など、共通認識と実践につながるルール作りが必要 ②小地域ネットワークなど、地域のサロン活動の現状と課題、特に担い手不足などへの支援体制について聞く ③居場所をもたない高齢者等へのアウトリーチ対策強化について
		4. 防災対策について	(1) 自主防災組織の現状と課題、防災人材の育成について聞く ①防災組織の維持、人材育成の視点を取り入れた補助金の柔軟な適用を求める 一備品等についても言及一
		5. サバーファーム開園後の取り組みについて	(1) 開園後の入園者数の推移とアンケート調査等で利用者の意見をどう受け止める、課題認識について聞く (2) リピーターを増やす取り組みについて ①ぶどう狩りやイモ掘り終了後の端境期における取組強化を ②家族連れが園内にとどまるプレイゾーン等の整備を求める（夏季熱中対策も含め言及） ③園内温室等の既存設備の活用や四季の花を観光資源に（和泉リサイクル環境公園に言及） ④市民割りや家族割り、来訪回数割引といったリピーター獲得やロイヤリティを設けては (3) にこにこ市場の充実を求めて 現状と課題について聞く

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
7	3 番 岩崎 哲也 (質問方式) 一問一答	1. 本市に在籍している海外につながりのある児童生徒について。	(1) 海外につながりのある児童生徒の円滑な受け入れと教育支援体制の強化について。 ①日本語指導が必要な児童生徒、特に急な編入があった場合に備えた受け入れ初期支援体制は、本市で整備されているか、もしくは再整備が必要ではないか、本市でも独自の受け入れ体制を強化するべきと考えるが、本市の見解を聞く。 ※門真市や、津山市、甲賀市、伊勢崎市、上田市の先進的な取組みについて言及する。 ②日本語指導や学習支援を担う専門人材や日本語指導員の確保と育成について、本市の現状と今後の方針について、本市の見解を聞く。 ※地域の通訳ボランティアやとんだばやし国際交流協会との連携についても聞く。
8	9 番 山本 剛史 (質問方式) 一問一答	1. 市民税減税を求めている 2. こどもの権利条例(案)の改善を求めている	(1) 市民税を減税した場合、交付税の減額が、本市財政に与える影響をどの様に評価しているか。加えて具体的な減収見込みや交付税算定への影響について、本市の見解は (2) 令和6年度決算額で市民税を5%減税した場合の削減額をお示してください。 (3) 市民税減税により市民の可処分所得が増えることで、地域経済の拡大や景気回復が期待され、結果として税収の増加につながる可能性について本市はどの様に分析しているか。これらを踏まえ、中長期的な税収効果について、本市の見解は (4) 交付税の軽減リスクと景気高揚効果や物価高騰対策や可処分所得の増加を踏まえた上で、市民税減税を実施するべきと考えるが、本市の見解は (1) 家庭・学校への過度な介入を防ぐための制度設計について ①こどもの権利と義務のバランスに関する条文の必要性について ②こどもの権利と家庭の役割のバランスに関する条文の必要性について ③こどもの権利と学校への教育的裁量を尊重する条文の必要性について ④行政介入する範囲を明確化することについて ⑤擁護委員会における介入の濫用防止について
9	13 番 寺尾 千秋 (質問方式) 一問一答	1. 認定こども園化計画について	(1) 公立保育園のさらなる充実を求めて ①勤務時間と通勤時間で決められている保育時間以外での保育の保障についての現状と、利用実態や職員体制についての現状について聞くとともに、市の見解を併せて聞く。 ②土曜日保育について、各保育園の受け入れ方法と保育体制について聞く。 (2) 公立幼稚園に通う保護者のニーズに応える施設整備を求めて ①各園、来年度の3歳児入所申し込み人数を聞く。 ②公立幼稚園の保護者の就労している方の割合の推移を聞く。 (3) 認定こども園化をじっくり検証したうえで判断するために現在市が認識している、保育内容と幼児教育内容の違いと、保護者の声をどのように聞き活かしていくのか聞く。

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		2. 各種委員の処遇改善と役割に光を当てる施策展開を求めて	<p>(1) 人権擁護委員と民生委員・児童委員の各委員の基本的な役割について、日常活動の実際は、どのような状況にあるのですか。併せて、報奨制度について聞く。</p> <p>(2) 人権擁護委員と民生委員・児童委員の各委員と市役所とのかかわり方は、どのような仕組みになっているのでしょうか、特に、民生委員は欠員もあるとお聞きしています。各委員の権限を生かすための研修や経験交流は、どのように行われているのかお聞かせください。</p>
		3. 市立図書館の充実を求めて	<p>(1) 日頃の図書館活動について聞く。</p> <p>(2) 図書館児童書充実プロジェクトクラウドファンディング型ふるさと納税の実施について</p> <p>①実施を決定するまでの過程と、この事業を行う意義について市の見解を聞く。</p> <p>②締め切り後の達成状況と何を何冊充実できる見通しか聞く。</p> <p>③寄附額は、従来の予算に上積みされたのか、また、図書等購入費の予算の推移とその増減の理由を聞く。</p> <p>(3) 市直営で行う図書館事業は市で財源確保に努めるべきだと考えるが、市の見解を聞く。</p>
		4. 本市の公共交通について	<p>(1) 本市の公共交通の利用促進の向上にむけて</p> <p>①富田林市内を走る路線バスの利用者数とその推移について聞く。</p> <p>②市内を走るバスへの利用促進策について市としての取り組んでいる内容と見通しを聞く。</p> <p>(2) 大阪府が取り組んでいる自動運転バスの実証実験について本市が把握されている状況をお聞かせください。</p>
10	4 番 寺内 裕介 (質問方式) 一問一答	1. 多文化共生・国際交流等における取り組みの強化について。	<p>(1) 人権・市民協働課の組織編制について。</p> <p>①人権・市民協働課における人権・男女共同参画係と市民協働係の事務分掌について聞く。</p> <p>②(仮称)多文化共生・国際交流係を新設してはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>(2) JETプログラムの活用について。</p> <p>①CIR(国際交流員)を受け入れてはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>②SEA(スポーツ国際交流員)を受け入れてはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>(3) 本市職員の海外派遣について。</p> <p>※JIAMの海外研修や総務省の地方公務員海外派遣プログラム等に本市職員を派遣してはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。</p>
		2. 寺池台小学校前交差点の複合レーン化について。	<p>(1) 寺池台小学校前交差点の複合レーン化につき、複合レーンとなる予定の道路の真横のマンションへの事前説明がなかったことは、地元の合意形成において不十分であったのではないかと考えるが、経緯と本市の見解を聞く。</p>

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
			<p>(2) 複合レーン化計画は、有効歩道は36cm拡張されるが歩道としては73cm縮小するものであるため、歩道としての機能の低下につながることを心配する声、普通乗用車サイズを2台並走することを想定した窮屈な複合レーンに対する疑問の声、令和8年4月1日から始まる道路交通法の改正による影響を心配する声など、様々な声があがっている。複合レーン化することの有用性について本市の見解を聞く。</p>
		3. 本市における空き地の適正管理について。	<p>(1) 本市は「あき地の適正管理に関する条例」に基づき、空き地の一斉パトロールを例年、主に5～6月頃に実施していると聞き及んでいる。災害を未然に防ぐ意味では適切なパトロールのタイミングであると考えているが、雑草が最大限に繁茂し、実際に道路の側溝や標識、近隣住居等へ悪影響を及ぼすことが多い夏の後半から秋にかけてのパトロールも強化していくべきではないかと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>(2) 空き地の一斉パトロールは主に担当課職員がおこなっていると聞き及んでいる。同業務はシルバー人材センター等に委託していくべきではないかと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>(3) 雑草除去に関しては、除草では翌年も雑草が繁茂する可能性が高い。毎年適正に空き地を管理できない占有者は除草ではなく、防草に努めるべきだと考える。本市は雑草除去の指導においては、除草に加えて防草についても啓発していくべきではないかと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>(4) 本市の「あき地の適正管理に関する条例」では、指導・勧告・命令・代執行を規定しているが、占有者が勧告で是正をしなかった場合は、新たに公表予告・意見聴取・公表ができるように条例の一部改正をしてはどうかと考えるが、本市の見解を聞く。</p> <p>※茨城県龍ケ崎市の事例について言及する。</p> <p>(5) 雑草が伸びてくる夏前や雑草が翌年の種を落とす秋など、適切な時期において、除草や防草、「あき地の適正管理に関する条例」の内容等を広報誌で伝えるなど、空き地の適正管理の啓発を強化していくべきではないかと考えるが、本市の見解を聞く。</p>
111	1 番 伊東 寛光 (質問方式) 一問一答	1. 道路・公園・街路樹などインフラの維持管理体制について。	<p>(1) 本市における道路・公園・街路樹等の維持管理の現状について。</p> <p>①直営と個別の委託の組み合わせによる維持管理について、効率性やコスト、品質や職員の負担の観点から、市としてどのような課題認識を持っているか。</p> <p>(2) 国土交通省が推奨する「インフラメンテナンスにおける包括的民間委託」について。</p> <p>①包括管理を導入している自治体から、業務の効率化やコストの縮減、計画的な維持管理、データ管理の高度化などの効果が報告されているが、市として先進事例をどのように受け止めているか。</p> <p>※芦屋市の街路樹・道路・公園の包括管理業務委託について言及する。</p> <p>(3) 本市における包括管理業務委託導入の必要性について。</p> <p>①今後、人口減少、インフラの老朽化、職員数の減少が進む中で、道路・公園・街路樹の維持管理の「従来型の個別管理方式」を続けるのは難しくなると考える。中長期的なインフラの維持管理の見通しについて、市はどのように考えているのか。</p> <p>②コストや職員の負担、維持管理の品質（予防保全も含めた計画的な維持管理）、安全性の確保等を考えた場合、今後、本市においても「包括管理業務委託」の導入を検討すべきだと考えるが、市の見解を求める。</p>

令和7年第4回（12月）富田林市議会定例会

一般質問一覧表

発言 順位	発言通告者	発言の主題	発 言 の 要 旨
		2. DXや生成AIの利活用を推進するために。	<p>（1）富田林市DX戦略について。</p> <p>①DX戦略に記載の「職員のデジタルリテラシー」の向上・底上げ、「データの利活用」、「サービス向上」の取り組み状況や成果等について。</p> <p>②DX戦略を改訂し、生成AIの利活用等をどのように推進するのか方向性を示してはどうか。</p> <p>（2）生成AIの利活用を推進するために。</p> <p>①生成AIの利活用や利活用推進の取り組みの状況について。</p> <p>※特に「生成AIサービス利用契約」締結後の状況について。</p> <p>②（仮称）AIリテラシー標準を定めてはどうか。</p> <p>③全ての管理職（主幹以上）を対象に、AIに関する資格取得を義務付けてはどうか。</p> <p>※AI-900、G検定、DS検定等について言及する。</p> <p>④AIに関する資格取得を推進する環境を整えてはどうか。</p> <p>※補助制度等の拡充についても言及する。</p> <p>（3）DXや生成AIの利活用を推進するための人員体制について。</p> <p>①デジタル推進室デジタル推進係の役割について。</p> <p>②人員体制を拡充して、DX推進とシステム等の運用・保守の係を分けてはどうか。</p> <p>※「デジタル化政策の総合企画、調整及び普及促進」に注力できる環境を整えてはどうか。</p>